



うたがうら しょうがっこう
歌浦小学校

ぶらっせる にほんじん がっこう ほしゅうこう
ブラッセル日本人学校補習校

21号

歌浦っ子・ベゴニア通信



文責 ブラッセル日本人学校補習校 校長 佐藤 博

ブラッセル補習授業校のステキなステキな運動会！

ブラッセル補習授業校は毎週土曜日の週 4 時間だけの授業、しかも国語と算数だけ、ということはもちろんここで体育などを行うことはありません。しかし補習校の目的の一つに「日本の学校文化を体験する」というのがあり、日本の運動会と同じようなものを、「スポーツデー」と称して、6月の授業後の昼から取り組んでいます。本年度は、先日の6月10日の午後、気温30度を超える晴天の中、補習校のスポーツデーを行いました。

このスポーツデー、日本の運動会と大きく違うことがあります。それは行う全ての競技が練習なしのぶっつけ本番ということ。玉入れからスタートし、台風の目、綱引き、かけっこにリレーと子どもたちはそれぞれ4種目に出場しますが、どれもほぼ練習なし（協議によっては、やり方を説明するためちょっとだけ練習します）でのぶっつけ本番、でも練習をしない分、スポーツの楽しさを思いっきり味わうことができ、子どもだけでなく親も一緒になって楽しむことができる運動会となっています。特にベルギーなどの海外の国では、日本の運動会のように、みんなで同じことを集まって一緒にやるという習慣はほとんどありません。学校でも運動会だけでなく全校で集会をしたりというもなく、もっと言うと入学式や卒業式も全員で集まって、というのはいないそうです。だからこそこの国の人たちにとって、補習校のようなみんなで集まって運動するこの取組は非常に新鮮で、またもともと日本にいた人たちにとっては非常に懐かしい行事となりました。もちろん練習をしていないため、リレーのバトンパスなどスムーズにいかないことはあっても、みんなで協力する大切さは、この本番を通して思いっきり感じていたようです。暑い中、必死に応援する姿はとても微笑ましいものがありました。また力自慢がたくさんいる大人同士の綱引きも迫力満点でしたよ。ちなみに参加賞はベルギーに工場がある湖池屋さんのポテトチップス、子どもだけでなく先生方へも、ということで300袋以上のポテトチップスを無料でいただきました。こちらでは日本のお菓子などは日本食材店等に行けば買えるのですが、やはり日本のものってとても高価でなかなか買うことができません。そういった貴重なポテトチップスをもらって、子どもたちも大満足でした。ありがとうございました。また、このスポーツデーの様子などは、ブラッセル補習校のホームページの「デイリー」のページや、学校だより「ベゴニア」にて紹介しています。「ブラッセル補習校」で検索すると見ることができますので、興味ある方はぜひ見てください。



日本のお菓子も売ってますよ ～湖池屋さんだけじゃない！～

湖池屋さんのポテトチップス以外にも日本のお菓子はここベルギーでもたくさん食べることができます。よく見るのは「ポッキー」、これはこちらのメーカーが「MIKADO(ミカド)」という名で同じようなお菓子を出すくらい有名です。このポッキー、日本以外での海外の工場でも作られていて、ベルギーのスーパーでも売っているのですが、日本製のポッキーと大きく違う点があるのだとか・・・それはチョコがついているところの長さ！実は日本製のポッキーはこのチョコがついているのがきれいにそろっているのだけど、海外の工場で作られたポッキーはそろっていないものがあるとのこと。日本製のお菓子って味もおいしいけど、こういう細かいところにも気を配っているんですね。そのほかにも日本食材店には、せんべいやクッキー、グミなどもたくさん売ってありました。ただ上にも書いたけどとにかく高い！ポッキーも400円くらいの値段のため、なかなか食べることができません。

